



エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社

平成25年3月期 決算発表

補助資料

平成25年5月9日

連 結

1. 連結決算の概要	1
2. セグメント別業績	1
3. 設備投資の状況	1
4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由	2
5. 販売費及び一般管理費の主な内訳	2
6. 特別損益の主な内訳	3
7. 従業員の状況	3

百貨店事業

1. ㈱阪急阪神百貨店の業績	4
2. 店別売上高	4
3. 商品別売上高	5
4. その他の項目	5

連 結

1. 連結決算の概要

(単位:百万円)

	平成24年度実績			
	上半期	下半期	通期	前年同期比
売上高	236,185	288,968	525,154	103.9%
営業利益	2,162	8,507	10,670	107.2%
経常利益	2,762	8,576	11,338	110.0%
当期純利益	3,004	3,196	6,200	586.6%

	平成25年度予想			
	上半期	下半期	通期	前年同期比
	268,000	302,000	570,000	108.5%
	3,900	11,100	15,000	140.6%
	4,100	11,100	15,200	134.1%
	2,600	6,000	8,600	138.7%

減価償却費	5,604	7,882	13,487	106.7%
金融収支	382	76	458	92.6%
設備投資	9,364	23,719	33,084	300.0%
売上高営業利益率	0.92%	2.94%	2.03%	+0.06
売上高経常利益率	1.17%	2.97%	2.16%	+0.12
1株当たり当期純利益(円)	15.47		31.94	+26.20

	6,694	7,035	13,730	101.8%
	453	66	519	113.3%
	3,195	9,755	12,950	39.1%
	1.46%	3.68%	2.63%	+0.60
	1.53%	3.68%	2.67%	+0.51
	13.39		44.29	+12.35

※従来、㈱阪急阪神百貨店および㈱阪食は、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法を採用していましたが、平成25年4月1日より定額法に変更する予定です。

2. セグメント別業績

(単位:百万円)

	平成24年度実績			
	売上高		営業利益	
		前年同期比		前年同期増減
百貨店事業	383,318	102.1%	7,842	+2,080
スーパーマーケット事業	93,328	101.9%	1,811	+13
PM事業	13,770	105.5%	1,594	△146
その他事業	34,737	135.7%	618	△936
連結 合計	525,154	103.9%	10,670	+712

	平成25年度予想			
	売上高		営業利益	
		前年同期比		前年同期増減
	425,000	110.9%	11,146	+3,303
	98,075	105.1%	2,313	+501
	11,510	83.6%	1,350	△244
	35,415	102.0%	2,428	+1,809
	570,000	108.5%	15,000	+4,329

※セグメント間取引の連結上消去があるため、セグメント別営業利益の合計は連結営業利益と一致しません。

3. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	平成24年度実績		平成25年度予想	
	金額	前年同期増減	金額	前年同期増減
百貨店事業	22,790	+16,167	1,855	△20,935
スーパーマーケット事業	3,918	+2,310	3,749	△169
PM事業	1,834	+1,597	4,116	+2,282
その他事業	4,646	+2,086	3,228	△1,418
連結 合計	33,084	+22,055	12,950	△20,134

※セグメント間取引の連結上消去があるため、セグメント別設備投資額の合計は連結合計と一致しません。

4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増減	主な増減理由
(資産の部)	359,323	335,230	+24,093	
流動資産	65,418	63,307	+2,111	
固定資産	293,905	271,922	+21,982	
建物及び構築物	76,299	62,406	+13,893	阪急うめだ本店グランドオープンによる増加
投資有価証券	87,639	64,300	+23,338	時価評価差額の増加
差入保証金	47,609	57,372	△ 9,763	神戸阪急等敷金返還による減少
(負債の部)	172,901	166,375	+6,526	
流動負債	90,700	88,891	+1,808	
固定負債	82,201	77,484	+4,717	
繰延税金負債	17,537	10,546	+6,991	時価評価差額の増加(法人税相当額)
(純資産の部)	186,422	168,854	+17,567	
利益剰余金	99,032	95,258	+3,773	当期純利益+6,200、剰余金の配当△2,427
その他有価証券評価差額金	19,976	6,619	+13,356	時価評価差額の増加(法人税相当額控除後)

5. 販売費及び一般管理費の主な内訳

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	対比	売上構成比		販管費構成比	
					増減		増減
販売費及び一般管理費	131,859	129,508	101.8%	25.11%	△ 0.51	100.00%	—
人件費(報酬・通勤交通費含む)	49,129	49,410	99.4%	9.36%	△ 0.42	37.26%	△ 0.89
賃借料	23,556	23,192	101.6%	4.49%	△ 0.10	17.86%	△ 0.04
宣伝装飾費	8,673	8,108	107.0%	1.65%	+0.05	6.58%	+0.32
減価償却費	12,772	12,183	104.8%	2.43%	+0.02	9.69%	+0.28
委託作業費	7,832	7,166	109.3%	1.49%	+0.07	5.94%	+0.41
販売手数料	4,179	4,487	93.1%	0.80%	△ 0.09	3.17%	△ 0.30
運搬費	6,121	5,876	104.2%	1.17%	+0.00	4.64%	+0.11
その他	19,593	19,084	102.7%	3.73%	△ 0.04	14.86%	+0.12

6. 特別損益の主な内訳

(単位:百万円)

	当連結 会計年度	備 考
特別利益	7,159	
受取補償金	6,000	モザイク銀座阪急退店に伴う受取補償金(エイチ・ツー・オー リテイリング他)
投資有価証券売却益	1,001	株式売却益(エイチ・ツー・オー リテイリング他)
固定資産売却益	158	土地、建物等売却益(エイチ・ツー・オー リテイリング他)
特別損失	7,204	
新店舗開業費用	2,735	阪急うめだ本店グランドオープン関連費用(阪急阪神百貨店)
固定資産除却損	1,647	阪急うめだ本店グランドオープンに伴う除却(阪急阪神百貨店)他
店舗等閉鎖損失	1,642	インクス館の阪急うめだ本店移設に伴う閉鎖費用(阪急阪神百貨店)他
減損損失	621	阪急ファミリーストア住吉店他(阪食他)

7. 従業員の状況

(単位:人)

	当連結会計年度		前連結会計年度	
百貨店事業	3,163	(1,769)	3,289	(1,837)
スーパーマーケット事業	1,015	(4,117)	1,003	(3,956)
PM事業	133	(521)	177	(569)
その他事業	1,231	(2,410)	1,224	(2,388)
合 計	5,542	(8,817)	5,693	(8,750)

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

百貨店事業

1. ㈱阪急阪神百貨店の業績

(単位:百万円)

	平成24年度実績		平成25年度予想	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	381,925	102.1%	424,150	111.1%
売上総利益	94,154	102.5%	105,120	111.6%
その他の営業収入	1,747	108.6%	850	48.7%
営業総利益	95,901	102.6%	105,970	110.5%
販売費及び一般管理費	87,379	100.3%	93,970	107.5%
営業利益	8,522	134.9%	12,000	140.8%

2. 店別売上高

(単位:百万円)

	平成24年度実績		平成25年度予想	
	金額	前期比	金額	前期比
阪急本店 (注)1	144,698	116.1%	190,000	131.3%
千里阪急	17,186	99.5%	17,200	100.1%
堺 北花田阪急	10,286	100.3%	10,400	101.1%
川西阪急	17,711	97.8%	17,400	98.2%
宝塚阪急	8,885	99.8%	8,890	100.1%
西宮阪急	24,180	104.2%	24,500	101.3%
三田阪急	1,394	98.9%	1,410	101.1%
博多阪急	37,462	100.5%	39,000	104.1%
阪急メンズ東京 (注)2	11,468	126.2%	11,800	102.9%
阪急百貨店 大井食品館	4,557	96.0%	4,580	100.5%
都筑阪急 (注)3	5,987	76.5%	5,100	85.2%
阪神梅田本店	89,239	96.6%	85,000	95.2%
あまがさき阪神	3,786	101.6%	3,800	100.4%
阪神・にしのみや	4,506	98.4%	4,500	99.9%
阪神・御影 (注)4	573	65.0%	570	99.4%
合計	381,925	102.1%	424,150	111.1%

(注)1 阪急メンズ大阪、インクス館(阪急うめだ本店へ売場を移設し、平成24年11月18日閉館)を含む。

(注)2 平成23年7月19日から10月14日まで有楽町阪急を改装のため休業し、平成23年10月15日阪急メンズ東京として開店。

(注)3 平成24年10月3日 2～4階部分をショッピングセンターに業態変更し、これに伴う収益は㈱阪急商業開発にて計上。

(注)4 平成23年7月24日 2階部分の営業終了。

3. 商品別売上高

(単位:百万円)

	売上高			
	前年同期比	構成比	構成比増減	
紳士服・洋品	34,459	110.5%	9.0%	+0.7
婦人服・洋品	68,208	97.7%	17.9%	△0.8
子供服・洋品	10,432	85.8%	2.7%	△0.6
呉服・寝具その他の衣料	12,897	95.4%	3.4%	△0.2
衣料品計	125,996	99.5%	33.0%	△0.9
身の回り品	63,214	110.2%	16.6%	+1.3
家具	2,200	87.9%	0.6%	△0.1
家電	388	77.1%	0.1%	+0.0
家庭用品	10,081	97.6%	2.6%	△0.2
家庭用品計	12,670	95.0%	3.3%	△0.3
生鮮食品	25,953	98.1%	6.8%	△0.3
菓子	43,418	102.8%	11.4%	+0.1
惣菜	34,580	99.0%	9.0%	△0.3
その他食料品	21,416	100.6%	5.6%	△0.1
食料品計	125,369	100.4%	32.8%	△0.6
食堂・喫茶	10,126	128.2%	2.6%	+0.5
化粧品	23,194	100.7%	6.1%	△0.1
美術・宝石・貴金属	10,688	110.2%	2.8%	+0.2
その他雑貨	6,811	98.8%	1.8%	+0.0
雑貨計	40,693	102.7%	10.7%	+0.1
サービス	2,265	91.3%	0.6%	△0.1
その他	1,587	95.3%	0.4%	+0.0
合計	381,925	102.1%	100.0%	-

4. その他の項目

(1) 従業員の状況

人数	平均年齢	平均勤続年数
3,163 (1,769) 人	42.8 才	22.0 年

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※()内は、臨時従業員の期中平均人数

(2) 単位当たり売上高

(単位:千円)

	当期	備考
1人当たり売上高	79,700	売上高÷期中平均従業員数(期中平均臨時従業員含む)
1㎡当たり売上高	1,350	売上高÷期中平均売場(営業)面積

(3) 店別売場(営業)面積、営業日数と入店客数

	売場(営業)面積(m ²)	営業日数(増減)	入店客数(千人)	前年同期比
阪急本店 (注) 1	97,710	359 (-6)	40,027	117.7%
千里阪急	13,803	364 (-1)	(注) 6 5,417	97.7%
堺 北花田阪急	16,000	365 (-1)	7,526	102.4%
川西阪急	15,528	364 (-1)	5,747	97.1%
宝塚阪急	7,191	364 (-1)	(注) 2 -	-
西宮阪急	25,000	365 (-1)	13,341	101.9%
三田阪急	2,143	364 (-1)	(注) 2 -	-
博多阪急	41,835	365 (-1)	24,887	85.5%
阪急メンズ東京 (注) 3	11,445	364 (+ 87)	3,162	97.0%
阪急百貨店 大井食品館	2,121	364 (-1)	4,949	95.7%
都筑阪急 (注) 4	6,736	364 (-1)	4,200	82.1%
阪神梅田本店	53,395	364 (-1)	44,591	96.9%
あまがさき阪神	5,329	364 (-1)	(注) 2 -	-
阪神・にしのみや	4,998	364 (-1)	4,148	96.9%
阪神・御影 (注) 5	804	363 (-1)	5,252	99.6%
合計	304,037		163,252	99.5%

※面積は当期末時点

(注) 1 阪急メンズ大阪を含む。なお、阪急メンズ大阪の営業日数は363日。

(注) 2 入店客数計測器を設置していないため。

(注) 3 平成23年7月19日から10月14日まで有楽町阪急を改装のため休業し、10月15日阪急メンズ東京として開店。

(注) 4 平成24年10月3日 2～4階部分をショッピングセンターに業態変更し、㈱阪急商業開発が運営。

(注) 5 平成23年7月24日 2階部分の営業終了。

(注) 6 千里阪急の入店客数は、平成24年6月の入店客数計測器故障のため、同月を除く11ヶ月間の数値を記載しています。なお、前年同期比につきましては、平成23年6月の実績を除いた同期間(11ヶ月間)による対比を記載しております。